

経営比較分析表（令和3年度決算）

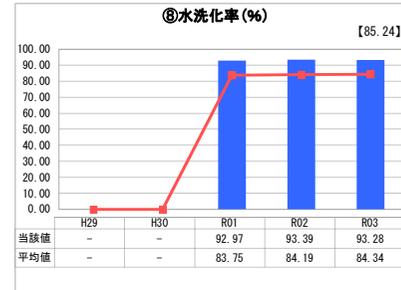
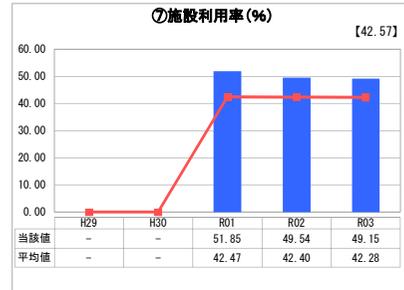
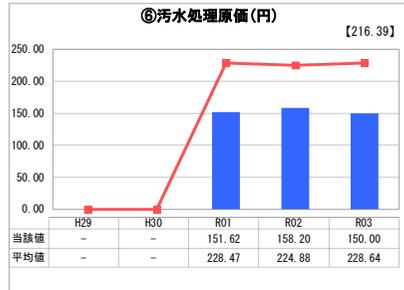
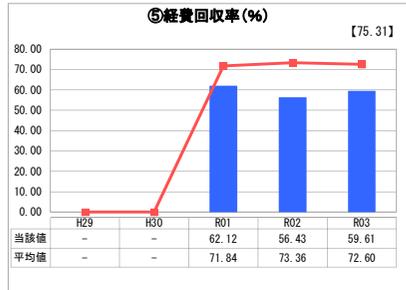
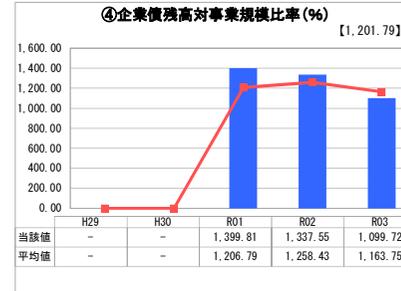
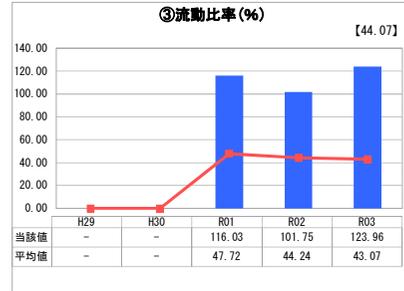
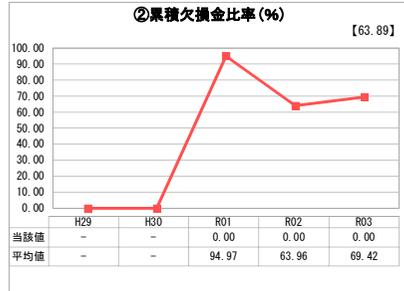
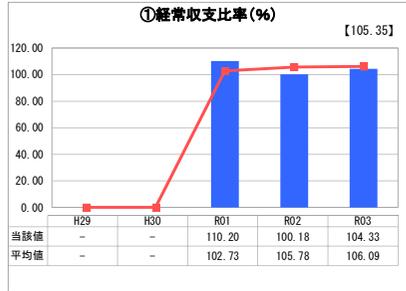
静岡県 御前崎市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	82.65	22.21	99.27	1,760

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
31,181	65.57	475.54
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
6,872	4.64	1,481.03

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

処理区域内の面整備が概成されており、現在は維持管理を主体とした事業運営をおこなっています。平成31年4月に地方公営企業法を全部適用し、公営企業会計に移行しました。

経常収支比率は100%を超えており、収支の均衡が保たれています。しかし経費回収率は100%を下回っており、維持管理費を一般会計繰入金で補填されている状況です。健全な経営とはいえない状況であり、使用料金の適正化が必要となっています。

流動比率は100%を超えており、類似団体に比べ支払能力は高い水準にあります。

企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を超えています。理由としては、使用料が安く設定されていることが挙げられます。今後は、料金改定を行うとともに、設備投資が終了し企業債償還金も下がるため、平均値に近づいていく見込みです。

汚水処理原価は類似団体を下回っており、効率的な汚水処理が行われています。

施設利用率、水洗化率は、類似団体を上回っているため、使用料を適正化することで、安定的な収入を確保することができます。

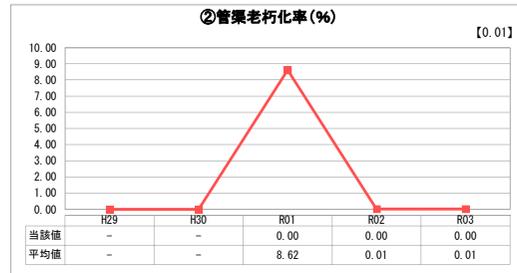
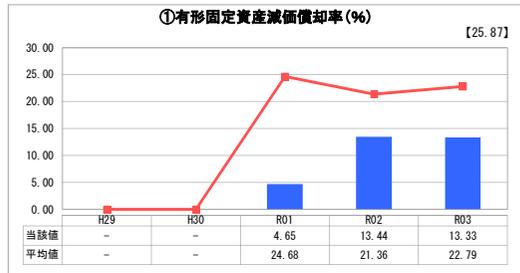
2. 老朽化の状況について

御前崎市特定環境保全公共下水道は、平成11年から供用を開始しており、現時点での老朽管はありません。

有形固定資産減価償却率は、今後増加が見込まれます。

ストックマネジメント計画に基づき、計画的に更新を行っていきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成31年4月から公営企業会計に移行しました。

御前崎市の現状は、維持管理費を使用料収入で賄っておらず、一般会計繰入金に依存した不健全な経営状況となっております。

令和2年度に経営戦略を策定し、令和3年度は料金改定に向けた上下水道料金等審議会を行い、市長に答申書の提出を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、議会への上程を見合わせていましたが、令和4年9月議会に上程し、承認されました。令和5年4月から料金改定を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。